

令和4年9月30日
日本工学院専門学校

学校関係者評価結果

本年度においては9月に学校関係者評価委員会議を実施した。委員会の中で本校の行った令和3年度の自己点検の評価についてすべての項目において了承を得た。評価委員からの主な発言は次のとおりである。

- ・スポーツフェスティバルについて、自校の施設で開催した点は良いアイデアであり、良い取り組みである。
- ・学生委員会 ACT は自主的に活動している学生の組織という点でとても素晴らしい。企業はこういった学生を欲しいと考えている。
- ・ゲーム業界は人材不足のため、御校からの人材輩出に期待したい。
- ・コンサート等のイベント業界はまだ集客が戻らないが、戻った際には御校からの人材輩出に期待したい。
- ・オンライン授業などコロナ禍の影響で、留学生の日本語能力低下がみられる。
- ・留学生の入学者減の影響が大きい。ただし日本人を受け入れカバーしている学科もあることが分かる。
- ・キャンパスの環境整備が良く出来ています、整備中の Link！日本工学院、LMS の完成にむけて期待している。
- ・特に学校運営について問題点となることは少なく、大手専門学校らしい王道の学校運営ができていると感じる。
- ・留学生への支援を積極的に行うなど、学生の将来の可能性を広げるために様々な取り組みを行っている。
- ・社会情勢を踏まえ、蒲田校の Wifi 整備、学生ポータルサイトの充実等の環境整備を図り、コロナ禍に対応した授業充実に努めている。

自己評価についてすべてこれらの通りであり納得した、この内容にて了承する。

以上

令和4年9月30日

日本工学院専門学校
学校関係者評価委員会
委員長 桂田 忠明 様

日本工学院専門学校
校長 千葉 茂

令和3年度の学校関係者評価委員会において討議された内容をふまえ、以下について検討していきます。

1. アフターコロナに向けて今後必要とされる教職員の業務改善について検討するとともに、学生がより安全に授業を受講できる受講環境整備を整えてまいります。
2. アフターコロナにむけ安全に授業ができる学内のインフラ整備を引き続き整備していきます。(Link 日本工学院、LMS、WSDB、パルサイン)
3. 教育の質を担保できる教員のスキルアップ、教育教材について引き続き検討していきます。
4. インフラ整備だけではなく対面授業・オンライン授業における教育の質の担保も継続的に研究、検討していきます。
5. 留学生の日本語能力向上にむけて取り組んでまいります。
6. 遊休使用中の校友会ラウンジの有効活用方法について検討してまいります。

以上

学校関係者評価表

評価項目	適切…4 ほぼ適切…3 やや適切…2 不適切…1	適切…4 ほぼ適切…3 やや適切…2 不適切…1	適切…4 ほぼ適切…3 やや適切…2 不適切…1	適切…4 ほぼ適切…3 やや適切…2 不適切…1	適切…4 ほぼ適切…3 やや適切…2 不適切…1	平均	委員からのコメント	今後の学校の対応
	A委員	B委員	C委員	D委員	E委員			
(1)教育理念・目標	4	4	4	4	4	4	建学の精神・教育方針・教育目標ともに素晴らしいものです。移り行く時代に合わせた目標となっているように見受けられます。今後も、創業者の「建学の精神」に基づき、時代に即した教育の推進を希望します。	現在の状況に満足することなく、今後の状況に対応した学科運営を提案していく。
(2)学校運営	4	4	4	4	4	4	教育理念を元に、時代に即した学校運営が行われています。	アフターコロナに向けて、教職員の業務改善と学生が安全に授業を受講できるインフラなどの環境を整備した学校運営を整えたい。
(3)教育活動	4	4	4	4	4	4	コロナ禍の中ですが、スポーツフェスティバルなどの行事を積極的に行い、日常の授業以外においても、学生の成長のために創意工夫を図っています。	対面授業・オンライン授業における教育の質の担保も継続的に検討する。
(4)学修成果	4	4	3	3	4	3.6	担当カレッジでは目覚ましい成果を上げている。一定の成果を収めているものと思われます。	教育の質を担保できる教員のスキルアップ、教育教材について引き続き検討する。
(5)学生支援	4	4	4	4	4	4	Link等に期待。留学生への支援を積極的に行うなど、学生の将来の可能性を広げるために様々な取り組みを行っています。充実した学園生活に向け学生目線による「学生委員会Act」の積極的な活動の実現に向け、充実したサポート体制の展開を希望します。	次回の委員会で整備実施を報告する(オンライン教育環境、Wi-Fi)
(6)教育環境	4	4	4	3	4	3.8	Link等に期待。社会情勢をふまえ、蒲田校のWi-Fi整備、学生ポータルサイトの充実等の環境整備を図り、コロナ禍に対応した授業の充実に努めています。	現在整備中の教育環境(校友会ラウンジ等)の有効活用とオンライン教育、Wi-Fi等のインフラ整備を引き続き行う。
(7)学生の受入れ募集	3	4	4	4	4	3.8	留学生の入学者減の影響が大きい。ただし日本人を受け入れカバーしている学科もあることが分かる。	留学生募集に注力し、入学後の日本語能力の向上に取り組む。
(8)財務	4	4	3	4	4	3.8	2023年度入試の出願数は安定していますので、財務状況も同様と思われます。	現在の状況を維持していく
(9)法令等の遵守	4	4	3	3	4	3.6	特に問題はないものと思われます。	現在の状況を継続していく
(10)社会貢献・地域貢献	4	4	4	4	4	4	今委員会にあてはまりますが、ゲーム・テクノロジー・テレビ、大田工業連合・教育関係等の様々な分野と連携し、時代に合った社会貢献を果たしています。コロナワクチン接種会場や文部科学省委託事業等、今後も様々な事業を積極的に展開ください。	大変評価いただいた、継続して対応していく
総合	4	4	4	4	4	4	適切な学校運営が行われていると判断させていただきます。	まとめたものをHPIに記載
全体に対するコメント	特に学校運営について問題点となることは少なく、大手専門学校らしい王道の学校運営ができていると感じます。 学生数が減ってしまった(In/Outの差が発生した)ことは、留学者数減の数字と大体一緒かと考えられるが、留学生の入学者数に頼りすぎると肝心の教育運営・クラス運営がままならなくなる事例もあり、今後躍りになって留学生の入学数を回復させようという動きは不要に感じます。	キャンパスの環境整備が良く出ています。 留学生対応が必要です。	なし	多岐にわたり安定した学校運営を行っています。コロナ禍における社会情勢にも柔軟に対応しています。専門学校として求められている社会での役割を十分に果たされるとともに、体育文化活動など学生の主体的・創造的な成長につながる学習活動にも工夫しながら取り組んでいます。また、高等学校との連携などが様々な分野で実施され、「高専連携」も十分に図れています。大田区の企業、地域団体とも積極的に交流を図っており、「産学連携」「地域貢献」も十分行えています。以上の理由から、今まで以上に時代に即した人材を育成なさっていくものと思われます。	なし	なし		